



日本赤十字社

# 有功やまぐち

創刊号

2013年3月発行

発行元：山口県日赤紺綬有功会事務局 山口市野田172番地5 TEL083-922-0102 日本赤十字社山口県支部内



平成23年度に、日赤山口県支部への支援事業として、当会より、心肺蘇生及びAED(自動体外式除細動器)訓練用人形を2体贈呈しました。これらの人形は、県内各地で行われる救急法等の講習会で使われています。

## 会長挨拶

～『有功やまぐち』創刊に当たって～

山口県日赤紺綬有功会 会長

久山 歌子



会員の皆様には、日頃から赤十字事業の推進に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。山口県日赤紺綬有功会は、赤十字の基本理念や幅広い人道的活動に賛同された有志の方により、昭和40年に結成され、支部支援団体として活動を続けてきました。

このたび、当会の活動状況を会員の皆様にお伝えするとともに、次の活動へつなげ、さらに、支援の輪を広げたいと考え、会報を創刊することとなりました。

『有功やまぐち』と題して、今後定期的に刊行してまいりますので、この会報を通して有功会の更なる活性化と、有功会員同士の情報交換に利用いただき、より深い親睦が図られればと思っております。

さて、日赤山口県支部では、災害救護活動をはじめ、講習普及事業、奉仕団・青少年の育成など様々な活動に取り組んでおられます。これらは全て県民の皆様からの活動資金によるものですが、昨今の不況の影響等で活動資金は減少傾向にあり、その確保は日赤全体の重要な課題の一つです。

支援団体である当会としては、赤十字活動の普及促進等を図り、より一層の力添えができればと考えております。

「人とのつながりの大切さ」が叫ばれているこの時勢、皆様と心をつなげて、赤十字の精神を共有し、発展していければと願っています。今後とも皆様、何卒よろしくお願いいたします。

# 平成24年度の主な事業

## 山口県日赤紺綬有功会総会を開催

平成24年6月26日(火)山口市翠山荘にて、平成24年度山口県日赤紺綬有功会総会を開催いたしました。

総会では、平成23年度の事業報告、決算報告、平成24年度の事業計画、予算、役員の改選について、審議され承認されました。

## 日赤紺綬・有功会会長協議会総会に出席

平成24年10月11日(木)12日(金)熊本市の「熊本ホテルキャッスル」にて、平成24年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会が開催され、久山会長、支部職員が出席しました。

総会では、平成23年度の事業報告、決算報告、平成24年度の事業計画、予算、役員の改選について、承認され、作家であり、西南戦争研究家の勇知之さんによる「西南戦争と博愛社創設秘話」の講演も行われました。

また、今年度は、中四国9県代表として、久山会長が当有功会の活動状況を報告いたしました。



## 日赤山口県支部への支援事業

平成24年度事業計画に基づき、青少年赤十字の活動に役立ててもらおうと高齢者疑似体験セットと車椅子を贈呈し、支部事業資金と海外たすけあいにも協力しました。

これらの資材は今後、高齢者など、人に対する思いやりの心を育むことを目的として、青少年が高齢に伴う身体の変化や車いすを動かす技術を体験・理解するために、青少年赤十字加盟校での活動に使用されます。

2月8日、青少年赤十字加盟校を代表して、山口市立湯田小学校の児童へ高齢者疑似体験セットと車いすを贈呈



疑似体験セットを  
着用した児童



テレビの取材を受ける  
久山会長



# 全国赤十字大会開催

平成24年5月8日、「全国赤十字大会」が日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下、宮妃殿下のご臨席の下、東京都「明治神宮会館」において開催されました。全国から赤十字関係者約1600名が参加し、山口県からは当会からの2名を含む22名が参加しました。

大会では、赤十字活動に顕著な功勞のあった個人・団体に対し名誉総裁から有功章が、日本赤十字社社長からは社長表彰状が贈られました。

また、東日本大震災でこころのケアを行った看護師やボランティア活動を行った青少年赤十字メンバーから活動報告があり、被災者を支える活動報告に参加者からは盛大な拍手がおくられました。

大会第二部は、由紀さおりさん、安田祥子さんのコンサート。二人の美しいハーモニーが会場一杯に響き、最後は、被災地の一日も早い復興を願って、参加者全員で「故郷」を合唱して、盛会のうちに閉会となりました。



## 仲間づくり運動にご協力をお願いします

当会は、日赤山口県支部の活動に協力し、赤十字の人道・博愛の精神の普及とその事業の推進に奉仕することを目的として、活動しております。

つきましては、本年も5月の赤十字運動月間を中心に赤十字事業を支援する輪を広げるために、社資の勧奨と、一人でも多くの方が有功会へ入会いただきますよう勧誘をお願いします。

(参考)

有功会の入会資格となる有功章の受章は、銀色有功章なら社資の金額が20万円以上、金色有功章なら50万円以上の金額(いずれも一時又は分割して)に達した方となっております。

なお、日赤への社資に対しては、税制上の優遇措置があります。

## 知っ得情報

～「今日の献立」編～

鯛と海老の散らし寿司

お寿司は誰もが大好きな定番メニューです。  
新鮮な鯛を合わせ酢でしめましょう。鯛のだしが合わせ酢に出てきますので深い味のお寿司が簡単にできます。  
塩分は1人分2gです。塩分を節約してもおいしいお寿司です。

6人分

[分量]

米 米3合(420g)  
水 炊飯器に合わせる  
昆布 5cm  
〈合わせ酢〉  
酢 80cc  
砂糖 54g(大さじ6杯)  
塩 10g(小さじすり切り2杯)

〈具〉  
人参 50g  
調味液A(出汁100cc砂糖5g)  
干し椎茸 3枚  
かんぴょう 10g  
調味液B  
もどし汁300cc 砂糖大さじ2杯  
醤油大さじ1杯 みりん小さじ1杯

[作り方]

- ①米は30分前に水洗いし、ざるにあげておく。
- ②炊飯器に米を入れ3合の水よりやや少なめ、寿司用に水をあわせ昆布を載せて炊く。
- ③合わせ酢の材料を鍋に入れ軽く火にかけ砂糖と塩が溶けたら直ちに火から降ろし冷ます。
- ④刺身用の鯛は薄いそぎ切りにして③の合わせ酢に漬けておく。
- ⑤海老は皮つきのままたっぷりのお湯で茹でて皮を取り2枚に切る。これも③の合わせ酢に漬けておく。
- ⑥かんぴょうは水でもどし柔らかくなるまで約15分程度茹でる。水気を充分切り細かく刻む。
- ⑦干し椎茸は水でもどし薄切りにしておく。
- ⑧かんぴょう、椎茸を調味液Bで煮汁が無くなるまで煮る。
- ⑨人参は線や梅型お好みに切り、だしと砂糖で硬めに煮ておく。
- ⑩卵2個で錦糸たまごを作る
- ⑪菜の花は色良く茹でておく。
- ⑫ご飯が炊きあがったら、寿司桶に移し、鯛と海老を取りだした合わせ酢を荒熱を取りながら全体に切るように混ぜる。かんぴょうと椎茸も混ぜ込む。
- ⑬器に寿司めしを盛り、鯛・海老・菜の花・人参・錦糸卵で色良く飾る。



(山口赤十字病院 栄養課長 監修)

# 支部便り

2012年に日赤山口県支部で行った主な事業を紹介します。これらの事業は、有功会員様をはじめ、県民の皆様から寄せられた活動資金によって行っています。

## 赤十字をもっと身近に

5月の赤十字運動月間に合わせて、ゆめタウン宇部において、山口県支部、小野田赤十字病院、山口県赤十字血液センターの合同で「一日赤十字」のイベントを行いました。

非常食炊出し、医師、看護師による健康相談、献血の呼びかけなどを実施し、多くの来場者で賑わいました。



## 気づき・考え・実行する

7月から8月にかけて小・中・高校生を対象に山口市十種ヶ峰青少年自然の家にて、「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター」を開催しました。

参加したメンバーは、「気づき」「考え」「実行する」の「態度目標」のもと、赤十字の精神を学ぶとともに、思いやりの心や自主性を身につける機会となりました。



## いざという時のために

10月27日～28日、愛媛県松山市において、中四国9県支部、防災関係機関などが集結し、災害救護訓練を実施しました。

大規模災害が発生した時に、広域にひろがる赤十字のネットワークを活用し、医療救護活動などをスムーズかつ確に行えるよう訓練しました。



## ようこそ山口県へ

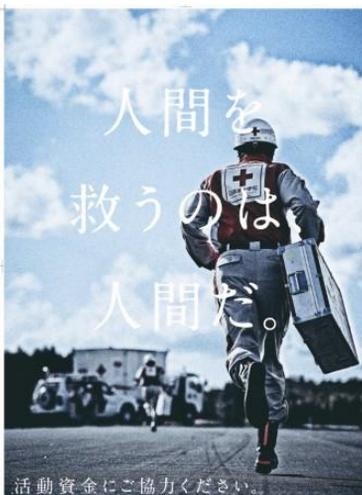
11月16日～22日に日本赤十字社が行っている国際交流事業として、当支部では韓国から2名の高校生を受入れました。

この事業は、青少年の国際理解と親睦を深めるために実施されており、県内の小・中・高校生との交流で、書道や茶道など、日本文化にも触れていただきました。



## 5月は赤十字運動月間です

今年も「赤十字運動月間」である5月を中心に、赤十字の活動資金となる社資を募集いたします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 寄稿のお願い

会員の皆様と共につくる会報を目指しています。会員の皆様からのご寄稿をお願いいたします。赤十字事業への思い、俳句、短歌、詩、エッセー、写真、絵などなど、ぜひお寄せください。

また、会報や当会の活動に対するご意見、ご要望などをお聞かせください。

## あとがき

この度、会報創刊にあたり、「温かさ」をテーマに作成いたしました。

これからも、有功会の更なる発展のために、定期的に刊行してまいりますので、よろしくお願いいたします。